山崎直方 日本人初の近代地理学者。日本の地理学を国際レベルに高め、地理教育者としてその礎を確立した。

やまざきなおまさ

初の日刊新聞1870 = 土佐国土佐郡旭村赤石(高知市)で、高知藩士の子に生まれる。

明治6年政変 1873 = 3歳 :

東京市神田区の錦坊学校、

沖縄県編入・1879 = **9歳** :

明治14年政変1881 = 11歳 :

東京府立第一中学校を経て、

国民之友始・1887 = 17歳 : 第三高等中学校予科に入学、**早くも、人類学、考古学の研究を始める。**

初の対等条約1888 = **18歳** :

帝国憲法発布1889 = 19歳 :

大本教・・・1892 = 22歳 : 卒業し、**東京帝国大学理科大学地質学科に入学。**

郡司千島探検1893 = 23歳 : **東京地質学会を創立と機関誌(地質学雑誌)の創刊に参画、**

日清戦争始・1894 = 24歳 :

日清戦争終・1895 = 25歳 :

卒業。大学院に進み、小藤文次郎の指導を受ける。震災予防調査会から委嘱されて、妙高山、三原山などを調査、それぞれの山の発達過程を明らかにし、以後の火山地形研究の原型となる。

白馬会・・・1896 = 26歳 :

八幡製鉄始・1897 = **27歳** :

子規句歌革新1898 = 28歳 :

陸羽地震に際しては、横手盆地に出現した断層を精査して、震源とみなす。小藤に随行して台湾も踏査。

第二高等学校教授に就任し、地質学を担当。

文部省の命で、地理学研究のためドイツ留学、ボン大学で日本地誌研究者J.J.ラインの指導を受け、その著書「日本」の改訂を助け、続いてウィーン大学の近代地理学者A.ベンクに師事して、強く感化される。

Bushidou・・・1899 = 29歳 :

ビアノ産産化・1900 = 30歳 :

教科書疑獄・1902 = 32歳 :

文部省の命で、ベルリンでの第7回国際地理学会議に、

パリでの第8回国際地質学会議に出席。

***ドイツ語論文「日本の瀬戸内海の形態学考察」を発表した後、帰国。東京高等師範学校教授となり、東京帝国大学理科大学の地質学科でも地理学を講義。直後に、日本アルプスの地形を踏査し、日本人としては初めて日本に氷河地形の存在することを指摘するも反響少ない。博文館から「大日本地誌」の編集を依頼され、文検(文部省中等学校教員検定試験)地理科の委員になる。_東京高等師範学校の同僚佐藤伝蔵とともに、高水準の「大日本地誌」の刊行を開始し、**

日比谷公園・1903 = 33歳 :

日露戦争終・1905 = 35歳 :

満鉄発足・・・1906 = **36歳** :

アライ創刊・1908 = 38歳 :

大逆事件判決1911 = 41歳 :

明治天皇没・1912 = 42歳 :

第一次大戦始1914 = 44歳 :

東京帝国大学法科大学で経済地理学の講師となる。**欧米の大規模な氷河と氷河地形を紹介し、**

東京帝国大学理科大学地質学科に設けられた地理学講座の担当になり、

教授に就任。氷河論争が激しくなってくると、より精緻な調査をして、学界の注目を集めるに至る。

_ドイツのA.ウェゲナーが2年前に発表するも欧米の学者の多くが否定的であった"大陸漂移説"に賛成し、率先して日本に導入。第一次大戦で政治地理への関心も高め、日本軍がドイツ領南洋諸島を占領すると、

21ヶ条要求・1915 = **45歳** :

民本主義・・・1916 = 46歳 :

ロシア革命・1917 = 47歳 :

空前の大規模な「大日本地誌」10巻が完結。南洋諸島を巡遊し、

観察し考察した結果を「我が南洋」にまとめる。

東宮御学問所で皇太子に地理を講義した。

ベル仁条約・1919 = 49歳 :

***地理学講座が地理学科として独立、教室主任となって、日本の地理学に新時期を画し、**

この間、文検委員を継続して務めるなど地理教育へ貢献し、地理学の国際交流もほとんど一人で担い、太平洋学術会議創設に関与し、ハワイへ出張。

大暴落・・・1920 = 50歳 :

原敬首相暗殺1921 = 51歳 :

水平社結成・1922 = 52歳 :

関東大震災・1923 = 53歳 :

護憲三派圧勝1924 = **54歳** :

治安維持法・1925 = 55歳 :

円本時代始・1926 = 56歳 :

金融恐慌・・・1927 = 57歳 :

共産党事件・1928 = 58歳 :

***日本地理学会を創設して初代会長となり、機関誌(地理学評論)を創刊、地理学盛行の基礎を築く。**

数年間の海外旅行記「西洋又南洋」。**_太平洋学術会議を東京に誘致し、幹事長として会を推進、**

前々年の但馬地震、この年の奥丹後地震でも、地殻変動を調査。

イギリスでの第12回国際地理学会議に、多くの若手を率いて出席、ベルリン地理学会の名誉会員、

地図史への関心も強く、膨大な量の古地図を蒐集し、定年退官後は園研究に打ち込むつもりであったが、

世界恐慌・・・1929 = 59歳 :

東京文理科大学の地学科の設置に関与し、兼任教授となってまもなく、**_定年目前に、没した。**